

長期ステロイド使用後の脆弱な皮膚から皮膚状態が変化した成人アトピーの経過 (37 歳 成人)

症例 ID：001-30-KM5 | 記録日：2015 年 12 月 28 日

1. 診断・治療前経過

12 歳頃に臉のかゆみと湿疹が出て、徐々に全身へ広がりました。中学、高校、専門学校期は複数の皮膚科でステロイド外用を続けました。

27 歳でステロイドを中止し、民間療法や入院治療を経験しましたが、再燃を繰り返しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	中学頃から成人期までステロイド外用薬を使用しました。
製品名	複数使用。詳細は不明です。
強度	不明です。
使用期間	12 歳頃から 27 歳頃まで長期に使用しました。
中止時期	27 歳頃です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
12 歳頃	発症	臉のかゆみと湿疹が出て、全身へ広がりました。
中学～専門学校期	長期外用	複数の皮膚科でステロイド外用を続けました。
27 歳頃	中止	ステロイドを中止し、民間療法を開始しました。
その後	入院治療	強い悪化により遠方の医療機関へ入院しました。
松本医院受診時	皮膚状態	掻くとすぐ出血するほど皮膚が脆い状態でした。
治療開始後	症状の強い時期	皮膚が赤く、ごわごわし、全身に強い症状が出ました。
2015 年 12 月	経過中	かゆみと掻き傷は残るものの、以前より皮膚が丈夫になったと感じられました。

4. ピーク時期

ピークは、ステロイド中止後の強い再燃と、治療開始後に皮膚が赤くごわごわし、掻くと出血しやすくなった時期です。

5. 困りごと

- 複数の医療機関を受診し、入院治療も経験しました。
- 掻くとすぐ出血する皮膚状態が続きました。
- 記録時点でもかゆみと掻き傷が残っていました。

6. 経過のまとめ

治療開始時の脆く出血しやすい皮膚や、赤くごわごわした状態と比べて、2015 年 12 月時点では皮膚が丈夫になったと感じられる変化がありました。

かゆみと掻き傷は残り、治療を継続していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。